

第2章 平成30年度「かながわりケジョ・エンカレッジプログラム」による出前講座の実施結果報告（県立高等学校対象）

1. 県立追浜高等学校実施結果

ア 日程 平成30年6月13日（水曜日）9時55分から10時50分

イ 講師 ○かながわ女性の活躍応援団から派遣

日本発条（株）ばね生産本部評価・実験部試作グループ 野田 香織 氏

○JNWES（NPO 法人日本女性技術者科学者ネットワーク）から派遣

（株）アットシステム 代表取締役 佐宗 美智代 氏

ウ 対象 県立追浜高等学校 1、2年生 546人

エ 概要

- 野田氏からは、現在の仕事の内容ややりがい、工学部を選んだ理由をお話いただいた。また、「社会人として働く期間は人生の中でも長期間。理想の働き方や仕事をイメージしておくことが大切。」と高校生に向けたアドバイスもあった。
※当日投影資料「エンジニア 野田香織 誕生まで!!」（資料Ⅱ）
- 佐宗氏からは、出産や夫の転勤を機に一度は退職したが、在宅で仕事を続けたことや、PTA 活動などの経験を活かした情報サービスを開発し、起業した経験をお話いただいた。大学の学部や学科をどのように選べばよいか、ひとつの目標に道はたくさんあるということなど、進路選択に役立つ話や考え方も伝えていただいた。
- 実施後のアンケートでは、参加者の 57.9%が「理工系分野に対する考えが変わった」と答え、そのうちの 61.7%が「理工系分野の印象が良くなった」と回答した。

オ 参加者の声

- 社会の役に立っていることが仕事のやりがいやモチベーションになっている姿は、とても憧れました。自分も将来、自分が関わっている物や仕事を通して、やりがいを存分に味わえる仕事に就きたいと思いました。
- 向いている、向いていないではなく、自分の好きなこと、やりたいことをやろうと思いました。苦しいことでも好きなことならば乗り切れるということが印象に残りました。社会人に対するイメージが、よい方向に変わりました。
- 理系は難しそうなことばかりでつまらないだろうと思っていたのですが、また別の一面も見ることでよかったのでよい機会になりました。
- 最初は「自分は文系だからあまり関係ない」とか思っていたけど、理系の人用の話じゃなくて、文系の私が聞いてもおもしろい内容だったからよかった。大学進学がずっと先のことじゃなくて身近に感じられた。

- 2つの学部（出身者）から話を聞いたが、女の人でも理系で活躍できるんだと思った。自分も理系に進もうと考えているが、今日来てくださった2人のように活躍できるように頑張りたいと思った。
- 今、進路に迷っているので、こういった将来に関する話はとてもためになりました。いつごろ進路を決めたか、どういう考えでその進路に進んだかなど、とてもよいアドバイスになりました。

カ 事業評価

昨年度も同様の形式で実施し、学校から好評をいただき、今年度も実施となった。今年度は、科目選択を考える時期に、理系を勧めるだけでなく、大学進学その先にある「様々な職業を知る」「働くことを考える」ための進路講演会（プロフェッショナル・セミナー）として開催され、校内で定着する可能性もある。

講師には、入社3年目の若い方と、会社勤めの経験もあり起業された方に来ていただき、それぞれの立場からの講義内容となり、幅広い情報が提供できた。

アンケート結果は、設問2「講演の内容は進路選択に役立つ内容でしたか？」について「5、はい」が31.9%、「4、概ねはい」が46.7%と、非常に高評価であった。具体的に役立つ内容としては、「理工系学部や学科の情報」「理工系分野の仕事内容」の他に、「好きなこと、やりたいことを目指そうと思った」「社会人の生活について知ることができた」等の記載が多かった。

また、設問3「理工系分野に対する考えは変わりましたか？」については、57.9%の生徒が「変わった」と答えている。そのうちの61.7%が「理工系の印象が良くなった」と答えている。これは裏返せば、元々は理工系分野に対して「良くない」印象を持っているということでもあり、本講座を通して、それが改善されたことは「リケジョ促進」に対してよい効果があったと評価できる。

キ 生徒アンケート結果（学校別）

6月13日(水)9:55～10:50
 県立追浜高等学校
 546名
 (アンケート回収 546名)

■設問1

あなたの学年、性別

	1年	2年	計	合計
女子	137	145	282	546
男子	138	121	259	
未記入	2	3	5	

■設問2

講演の内容は進路選択に役立つ
 内容でしたか？

いいえ←					→はい					未記入	合計	平均
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
5	17	94	255	174	1					1	546	4.1
0.9%	3.1%	17.2%	46.7%	31.9%	0.2%					0.2%	100.0%	

■設問3

講演の前と後で、理工系分野に
 対する考えは変わりましたか？

変わった	変わらない	未記入	合計
316	230	0	546
57.9%	42.1%	0.0%	100.0%

「変わった」と答えた人は、何が
 変わったのか次から選んでくださ
 い。(複数回答)

進学・就職したいと 思った	興味を持った	印象が良くなった	その他
37	104	195	16
11.7%	32.9%	61.7%	5.1%

■設問4

あなたの希望する進路を教えてください。

		進学 (文系)	進学 (理系)	進学 (未定)	就職 その他	未記 入等	合計
1年生	女子	57	30	48	2	0	277
	男子	32	63	41	0	2	
	未記入	1	1	0	0	0	
2年生	女子	83	38	20	3	1	269
	男子	50	57	11	2	1	
	未記入	1	1	1	0	0	
全学年	女子	140	68	68	5	1	546
	男子	82	120	52	2	3	
	未記入	2	2	1	0	0	

2. 県立市ケ尾高等学校実施結果

ア 日程 平成 30 年 6 月 15 日（金曜日）15 時 45 分から 16 時 45 分

イ 講師 ○かながわ女性の活躍応援団から派遣

神奈川県環境農政局環境部大気水質課 森田 菜津美 氏

○JNWES（NPO 法人日本女性技術者科学者ネットワーク）から派遣

（株）栄設計 木村 了 氏（JNWES 理事長、一級建築士、

一級造園施工管理技士、技術士（農村環境部門））

ウ 対象 県立市ケ尾高等学校 1～3 年生 20 人（希望者のみ）

エ 概要

- 市ケ尾高等学校進路公開室「第 7 回キャリアアップ講演会」（放課後、自由参加のミニ講演会）として実施した。
- 森田氏からは、理系を選んだ理由や大学、就職先をどのように決めてきたのかについてお話しいただいた。高校時代には就きたい職業が見つからず、大学では幅広く学べる学部を選んだこと、長く働き続けられる職場として県庁に決めたことなど、実体験に基づく内容であった。
- 木村氏からは、理系の進路について、大学の学部と職業の関わりや、なりたい職業とアプローチの方法について、豊富な事例とともに説明していただいた。また、楽しい人生を送るためにも、自分の好きなことを見つける大切さをお話しいただいた。※当日投影資料「夢を実現しよう You can do anything! その為に君たちは高校に通っている」（資料Ⅲ）
- 講義終了後、2 人の講師に大学や仕事のことを質問、相談する生徒が多く見られた。

オ 参加者の声

- 文理選択で今、悩んでいるので、実体験を聞けてよかった。
- 理工系で 1 つのものを目指すには、1 つの道しかないと思っていたけど、様々なところからその道に進むことができるということを知ることができてよかった。
- ただ、漠然と海の仕事に就きたいと思っていたので、ここから発想を広げて、どのような学部、学科に入るか考えていきたい。
- とてもわかりやすい説明でためになった。高校から努力を続けることができれば、大学もその先も努力できるという考えをこれから大事にしていきたいと思った。
- アプローチはたくさんある、と教えていただいたことで、今まで狭かった視野が広がった。

カ 事業評価

今回の出前講座は、実施校においては放課後のミニ講演会という位置付けで行われ

た。（昨年度も同じ形式で実施。昨年度参加者は 12 名であった。）1、2 年生が来年度の選択科目を決める時期で、テストなどに近くない日程での開催となったが、実際の参加者は、1～3 年生の男女 20 名であった。

学校からの要望で、理系進路の全般的な説明、現在の職業に就くまでの経緯（理系に決めた理由、どのように進学先、就職先を選んだのかなど）を主な内容として講師にお願いした。

アンケート結果は、設問 2「講演の内容は進路選択に役立つ内容でしたか？」については、8 人が「5、はい」、10 人が「4、概ねはい」と回答し、設問 3「理工系分野に対する考えは変わりましたか？」については 18 人が「変わった」と回答するなど、高評価であった。「理系の分野や職業がたくさんあることがわかった」、「職業へのアプローチの仕方が様々であることがわかった」という記述内容が多く、冊子『理系の仕事って？』¹を使った木村氏の講演が印象的であったようだ。

また、講演後に 2 名の講師に対して直接質問をする生徒が多く、大学や職業（建築士）についての質問だけでなく、どのように進路を決めればよいのか、どうすれば好きなことを仕事にできるのか、といった進路に関する悩みについてアドバイスを求める生徒もいた。

希望生徒の参加によるミニ講演会という形式は、生徒と講師との距離が近く、直接質問ができるなど生徒にとって講師がより身近に感じられるので、「現役で働くリケジョのロールモデル」を示すという本講座のよさが十分に発揮できたと考える。

¹ JNWES が作成する理工系の仕事紹介冊子

キ 生徒アンケート結果（学校別）

6月15日(金)15:45～16:45
 県立市ケ尾高等学校
 20名
 (アンケート回収 19名)

■設問1

あなたの学年、性別

	1年	2年	3年	計	合計
女子	5	7	0	12	19
男子	4	1	2	7	

■設問2

講演の内容は進路選択に役立つ内容でしたか？

いいえ←					→はい					未記入	合計	平均
1	2	3	4	5								
0	0	0	10	8						1	19	4.4
0.0%	0.0%	0.0%	52.6%	42.1%						5.3%	100.0%	

■設問3

講演の前と後で、理工系分野に対する考えは変わりましたか？

変わった	変わらない	未記入	合計
18	0	1	19
94.7%	0.0%	5.3%	100.0%

「変わった」と答えた人は、何が変わったのか次から選んでください。(複数回答)

進学・就職したいと思った	興味を持った	印象が良くなった	その他
5	7	8	1
27.8%	38.9%	44.4%	5.6%

■設問4

あなたの希望する進路を教えてください。

		進学(文系)	進学(理系)	進学(未定)	就職その他	未記入等	合計
1年生	女子	0	2	3	0	0	9
	男子	0	2	2	0	0	
2年生	女子	0	4	3	0	0	8
	男子	0	1	0	0	0	
3年生	女子	0	0	0	0	0	2
	男子	1	1	0	0	0	
全学年	女子	0	6	6	0	0	19
	男子	1	4	2	0	0	

3. 県立厚木東高等学校実施結果

ア 日程 平成 30 年 7 月 17 日（火曜日）13 時 25 分から 14 時 15 分

イ 講師 ○かながわ女性の活躍応援団から派遣

アツギ（株） 経理部財務グループグループリーダー 浅田 季実子 氏

○JNWES（NPO 法人日本女性技術者科学者ネットワーク）から派遣

（株）山下設計 情報管理部 副部長 廣瀬 由紀 氏

（NPO 法人女性技術士の会、一級建築士、技術士（情報工学））

ウ 対象 県立厚木東高等学校 1 年生 271 人

エ 概要

- 「総合的な学習の時間」の 1 コマとして実施した。
- 工学部を卒業し、現在は経理部で働く浅田氏から、高校時代の進路選択、就職活動のときに考えたことや、工学部での学びや就職して担当した仕事の経験を現在の仕事にどのように活かしているかということを中心にお話しいただいた。
- 廣瀬氏は、建築学科で構造計算などのプログラミングを学び、建設会社の社内 SE として働いていることや、情報系技術者の職種や職場、やりがい、必要な力などについて説明し、実力勝負の技術者の世界は女性も力を発揮し活躍できるとお話しいただいた。
- 「就職など具体的な将来の目標を持って大学進学を考えた方がよいのか？」という生徒からの質問には、浅田氏は「どんな人生を歩みたいか、考えておくとうい。」、廣瀬氏は「高校生はまだまだ知らないことがたくさんある。大学でもっと視野を広げてから見つけても遅くはない。」との回答でした。

オ 参加者の声

- 具体的な体験談を聞いたので、大学進学に向けて役に立つことを学べてよかったです。これからも今日のような機会を作ってほしいです。
- 自分には全く無関係な分野だと思っていたのですが、案外とそんなことはないのだなと実感しました。知識や技術力はもちろん、人柄も大切なんだと思いました。似ていたようで全然違う、2 人の方の体験談を聞いてよかったです！
- 私は理系に進もうとしているので、今回の講演はとてもためになりました。最後の質問にも丁寧に答えくださってありがとうございました。
- 理系は何一ついいことがないとけっこう偏見があったのですが、いいこともあるんだなと考えが改まりました。少し理系について考え直したいです。
- 今やっている数学などは、将来、本当に自分がやりたい職業で使うかもしれないから、しっかりやっておこうと思いました。どんなものでも知識として持つておくのは自分の武器になることがわかりました。

カ 事業評価

今回の講座は、実施校においては1年生の「総合的な学習の時間」の1コマとして開催された。「理工系の進学とその先の仕事について知る機会」として設定され、科目選択、夏休みの大学見学等の進路について考えるヒントとなることが目的とされた。

アンケート結果は、設問2「講演の内容は進路選択に役立つ内容でしたか」は、平均が3.3点（5点満点）、評価3以上が全体の76.0%（206人）となった。これは、今年度実施した他校の結果（追浜高等学校 1、2年生 平均4.1点、評価3以上95.8%）と比べると低い値ではある。ただし、評価3以上につけている場合は、具体的に役立ったこととして、「実体験を聞いた」「理系の就職先、仕事について知ることができた」「大学、仕事の選び方」等のプラス評価の記載がほとんどである。役立たなかった理由として「文系に進もうと考えているから」「自分の進みたい分野ではないから」という記載が多かった（記載数44）。理系を勧めるための講演会として生徒が認識してしまうと、文系志望の生徒や講師の分野とは違う分野を志望する生徒は、「自分には関係ない、役に立たない内容」と判断してしまうのではないかと考えられる。学年全員を対象とした講演会形式で実施する際には、「文理関係なく、一人の人の進路選択の経緯や仕事に対する考え方を知ることから、自分自身の進路選択を考えるヒントが得られること」を事前の導入として伝えることが必須であることが改めてわかった。

また、今回の実施日は、気温が非常に高温となり、冷房設備のない体育館での講演会では生徒の集中力が続かなかったことも、事業の効果、アンケート結果に大きく影響していると考えられる。今後の実施の参考としたい。

キ 生徒アンケート結果（学校別）

7月17日(火)13:25～14:15
 県立厚木東高等学校
 271名
 (アンケート回収 271名)

■設問1

あなたの学年、性別

	1年	計	合計
女子	166	166	271
男子	96	96	
未記入	9	9	

■設問2

講演の内容は進路選択に役立つ内容でしたか？

いいえ←					→はい					未記入	合計	平均
1	2	3	4	5								
20	43	87	84	35	2	271	3.3					
7.4%	15.9%	32.1%	31.0%	12.9%				0.7%	100.0%			

■設問3

講演の前と後で、理工系分野に対する考えは変わりましたか？

変わった	変わらない	未記入	合計
78	187	6	271
28.8%	69.0%	2.2%	100.0%

「変わった」と答えた人は、何が変わったのか次から選んでください。(複数回答)

進学・就職したいと思った	興味を持った	印象が良くなった	その他
15	21	43	4
19.2%	26.9%	55.1%	5.1%

■設問4

あなたの希望する進路を教えてください。

		進学(文系)	進学(理系)	進学(未定)	就職その他	未記入等	合計
1年生	女子	81	52	28	3	2	271
	男子	32	55	7	0	2	
	未記入	5	2	1	0	1	

4. 県立鶴嶺高等学校実施結果

ア 日程 平成 30 年 10 月 4 日（木曜日）13 時 25 分から 14 時 15 分

イ 講師 ○かながわ女性の活躍応援団から派遣

富士フイルム（株）

R&D 統括本部 医薬品・ヘルスケア研究所 大内 彩 氏

○JNWES（NPO 法人日本女性技術者科学者ネットワーク）から派遣

日本精工（株）

自動車事業本部 自動車技術総合開発センター 花谷 尚子 氏

ウ 対象 県立鶴嶺高等学校 1 年生 372 人

エ 概要

- 「総合的な学習の時間」の 1 コマとして実施した。
- 薬学部で学び、現在は医薬品の研究職に就く大内氏には、高校時代、大学時代に進学や就職についてどのように決めたのか、詳しく説明していただいた。また、好きなことや嫌いなことを明確にしていくことで、自分のやりたいことが見つかるというアドバイスもいただいた。
- 花谷氏からは、大学時代の研究や、現在の仕事で設計しているベアリングについて、わかりやすい例を挙げながらお話しいただいた。身近な製品に自分の設計したものが使われていることがやりがいにつながり、ものづくりの仕事の楽しさでもあるとお話くださった。
- また、講師は二人とも小さな子どもがいる女性でもあり、仕事と家事や育児との両立について、「仕事は効率よく、家事は完璧を目指さない」「会社や地域の子育て支援制度を使えば両立はできる」とお話しされた。

オ 参加者の声

- 私は将来したいことが決まっていなくて、進路の話をするたびに不安になることがありました。でも、今回の講演を聞いて、今決まっていなくても今から考えていけばいいのかなと少し安心しました。好き嫌い、得意不得意を見つけていきたいです。
- 自分が興味のある分野とは違う話だったけど、こんな機会めったにないし、いろいろなことを知ることができて楽しかった。興味があることに挑戦するのが大事なんだなと思った。
- 顔がいきいきとしていて、楽しそうに話していたので、自分が好きなこと（合っていること）を仕事にしているうらやましいと感じた。
- 理系に進もうと考えていたのですが、本当に理系でいいのか悩んでいたのですが、お話ししてくれた二人を参考にし、しっかり進路を考えていこうと思いました。

- 将来、自分がやりたい職業に就けるように少しずつ考えていきたいです。今回、進路について詳しいことをたくさん聞くことができたので、自分のプラスになるよう生かしたいと思いました。
- 今まででは理系は絶対ない！！と思っていたけど、イメージが変わりました。視野が広がったと思います！
- 私は理系に行こうと思っていたので、今回の話はすごくおもしろかったです。とくに社会に出てから、どんな会社で、どんなことができるのかについて興味が出てきました。

カ 事業評価

今回の講座は、実施校においては1年生の「総合的な学習の時間」の1コマとして開催された。2年生での科目選択決定の最終締切りを直前に控えた時期での実施であった。

アンケート結果は、設問2「講演の内容は進路選択に役立つ内容でしたか」は、平均が3.7点（5点満点）、評価4以上が全体の60.5%（225人）となった。また、設問3「講演の前と後で理工系分野に対する考えは変わりましたか」は、39.8%（148人）が「変わった」と答えた。変わったと答えた生徒のうち、48.6%（72人）が「理工系の印象が良くなった」と答えている。

自由記述欄には、「将来やりたいことが決まっていなくても焦らなくてよい」「講師の方は、好きなことを仕事にしている」「社会人の仕事や家庭生活の様子がわかった」という内容のものが多く見られ、講師の方が伝えたメッセージがしっかりと届いていたものと考えられる。今後も、現役リケジョ講師の「好きなことを見つけて、いきいきと働く姿」を通して、理工系分野の理解促進とともに、生徒が自身の進路をより前向きに考えられる機会の提供となるよう、学校、講師との講義内容の打合せをしっかりと行うことが重要と考える。

キ 生徒アンケート結果（学校別）

10月4日(木)13:25～14:15
 県立鶴嶺高等学校
 372名
 (アンケート回収 372名)

■設問1

あなたの学年、性別

	1年	計	合計
女子	206	206	372
男子	157	157	
未記入	9	9	

■設問2

講演の内容は進路選択に役立つ
 内容でしたか？

いいえ←					→はい					未記入	合計	平均
1	2	3	4	5								
8	13	125	150	75	1	372	3.7					
2.2%	3.5%	33.6%	40.3%	20.2%	0.3%	100.0%						

■設問3

講演の前と後で、理工系分野に
 対する考えは変わりましたか？

変わった	変わらない	未記入	合計
148	221	3	372
39.8%	59.4%	0.8%	100.0%

「変わった」と答えた人は、何が
 変わったのか次から選んでくださ
 い。(複数回答)

進学・就職したいと 思った	興味を持った	印象が良くなった	その他
19	66	72	7
12.8%	44.6%	48.6%	4.7%

■設問4

あなたの希望する進路を教えてください。

		進学 (文系)	進学 (理系)	進学 (未定)	就職 その他	未記 入等	合計
1年生	女子	101	44	59	2	0	372
	男子	53	69	33	0	2	
	未記入	6	1	1	0	1	

